

音楽科 3年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽典	4月～3月	様々な音符や休符、音楽記号など基礎的な名前や意味などを理解している。	それぞれの記号の特徴をふまえ、演奏でどのような表現がふさわしいか、生み出す効果について考える。	それぞれの記号の特徴に関心を持ち、ワークシートにまとめるなど主体的に学習活動に取り組もうとしている。
「花の街」	4月	「花の街」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわり、背景を理解している。また、これらの曲を美しく感動的に歌うために必要な発声や身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。	「花の街」を現状に対して、より美しく感動的な歌唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。	「花の街」の曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。
親しむ合唱曲に	4～7月	・合唱を通じた音楽の美しさや感動を理解し、楽しみながら合唱することができる。	思いや意図を持ってその曲にふさわしい、創意工夫した合唱表現をすることができる。	主体的・協働的に恥ずかしがらずに合唱を通じた音楽表現に取り組もうとしている。
ブルタバ	5～6月	「ブルタバ」の曲想と音楽の構造・背景や演奏形態、スメタナの生涯について理解している。	「ブルタバ」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	「ブルタバ」が表す背景及び曲の表情や味わいに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
リコーダー	5～7月	アルトリコーダーの演奏技能を身につけ、美しく曲を演奏表現できる。	アルトリコーダーで美しい演奏をするために必要な要素を考え、創意工夫している。	アルトリコーダーで曲を演奏できる喜びを目指し、主体的・協働的に練習に取り組もうとしている。
学年・全校合唱	7～10月	文化祭で学年・全校で合唱発表するために必要な美しい発声、正しい音程での歌唱などの技能を身に付け、表現している。	現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。	学年・全校合唱の練習に対して、パートやクラスで主体的・協働的に参加しようとしている。
バレエ音楽「ボレロ」	11月～12月	「ボレロ」の演奏を鑑賞することを通して、オーケストラの表現形態を理解し、その楽しさや感動を味わうことができる。	「ボレロ」を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	バレエ音楽の特徴やその作品に興味関心を持ち、主体的に鑑賞活動に取り組もうとしている。
伝統音楽 日本	1～2月	雅楽「越天楽」の曲想と音楽の構造や、各楽器の構造や演奏法について理解している。	雅楽「越天楽」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	雅楽「越天楽」鑑賞活動や、その背景の理解について、主体的に取り組むことができる。
卒業式	1～3月	卒業式における「君が代」「校歌」「式歌」の意味を理解し、それらを美しく感動的に演奏することができる。	現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。	曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。
評価の方法 具体的な		行動観察、発言、発表、ワークシート、実技テスト、ロイロでの振り返り、定期テストなど	発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テストなど